

遮熱レースの定義と規格

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会 (NIF) では、カーテン及びスクリーンの遮熱性試験方法を「カケンレフランプ(インテリア)法」、評価基準値を「25%以上」とそれぞれ定め 2013 年 2 月 14 日より「遮熱マーク」の使用許諾に関する申請の受付を開始しました。



<夏の節電対策と遮熱レース>

「遮熱レース」は地球温暖化の影響により年々猛暑が厳しくなる中で、各社の提案が受け入れられ市場性の高い商品として注目されるようになったところ、一昨年 of 原発事故をきっかけに節電意識の向上から商品性能に関する関心が高まりました。高気密化が進む家に住む私たちにとって夏の暑さ対策は健康と家計を直撃する大問題となってきました。窓に射し込む直射日光を遮り、室内温度の上昇を抑えるための方法は様々ありますが、それによって室内が暗くなり照明をつけることは節電対策にはなりません。その点インテリアとしての「遮熱レース」は遮熱、採光の機能性にも優れた節電対策商品といえることができます。

<遮熱レースの定義>

遮熱レースとはシアーカーテン(レース、ボイル、オーガンジー、エンブroidダリー、ケースメント、薄手生地 of プリント)の内、別に定める規格に適合し、室内温度の上昇を抑制すると共に、昼間の室内における歩行や簡易な作業が可能な明るさを確保するものであり、一般 of レースと比較して節電対策上 of 相対効果が認められるものです。また、遮熱効果のあるロールスクリーンやブリーツスクリーンなどのスクリーン類については遮熱レース of 規格に適合したもの(遮光スクリーンを除く)と同様に扱うものとします。

<試験 of 信頼性にこたえるために>

NIFでは業界 of 統一基準を設けるべく 2011 年 8 月より検討を開始、各社 of 生地サンプルを用いて遮熱性試験を実施し、試験方法及び基準値を決めました。この試験 of ポイントは比較的広い生地面積を測定できるサーモグラフを用いたことにあります。「遮熱レース」はデザイン性が生命線であり、デザインが様々ある中でその生地 of 一部をもっていかに全体性能を担保するかが鍵となりました。NIFはカケンテストセンター of 協力を得て、入念に生地 of 検討を行い公明性、信頼性 of 観点から測定部位に関する確認を行っています。